

つろうて子育てプロジェクト



ねらい

未来を担う子どもの育成
子どもと多世代を繋ぐ

評価の視点

- 子どもの活動はどれくらいあるのか、参加者数はどれくらいあるか。
- 子どもの活動に関わる大人はどれくらいいるか。

重点項目

- 小中高生の企画提案
 - ・子どもが主体となって企画し運営する取組
- 子どもの活動づくり
 - ・学校の教育活動と往還のある地域の取組
 - ・日常的なものや長期休業中の連続した取組
 - ・広域での取組
- 大人の学び
 - ・子どもたちの育成と地域コミュニティの活性化

推進体制の
ポイント

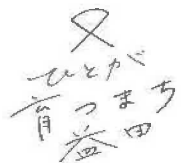


■公民館が事務局として、地域の中の子どもに関する団体やひとの拠点となるゆるやかなネットワーク（つろうて子育て協議会）の繋ぎ役・コーディネートを行う。

■地域によって協議会の運営の仕方やメンバーなどは様々とする。既存のものを活用する方法もある。地域の実態に応じ、現在の課題に対応したものになるように協働のひとづくり推進課と相談して進める。

協議会の機能

- 情報共有・対話
- 実際に活動を行う（協働）
- 振り返り



益田市教育委員会
事務局・協働のひとづくり推進課
〒698-0033 島根県益田市元町11-26
TEL 0856-31-0622
<https://masudanohto.jp/>

益田市公式
YOUTUBE PAGE



地域総がかりで取り組む 未来の担い手育成と繋がりのづくり



ひとは ひとによって ひととなる



2023.3
益田市教育委員会
協働のひとづくり推進課

地域総がかりで取り組むこと 未来を担う子どもの育成



ここ数年、子どもたちを取り巻く環境は劇的に変化しています。教育に求められるものも変化し、もはや学校だけで教育を担う時代ではなくなっています。変化の激しいこれからの時代を生き抜く力を子どもたちが身につけるためにも、地域総がかりで子どもたちの育ちを支えることが必要です。

たとえば①「子どもが主体となって企画し運営する取組」

公民館と協働し、地域の公園でイベントを企画し、地域の方々と交流しました。地域に住む高齢者や保育園児など、どちらも多くの来場者があり、たくさんの交流が生まれました。子どもたちが考えたたくさんさんのイベント（肩揉みや遊びブース...養護学校、射的、お菓子作り、消しゴムはんこ体験...益田小）を企画したことで、地域の方々と積極的に触れ合うことができ、大いに盛り上がりました。



「益小プロジェクト」 益田小6年生×益田公民館



「みずいろカフェ」 益田養護学校×豊田・西益田公民館

たとえば②「学校の教育活動と往還のある取組」



「フルーツガーデン活動」 豊川小学校×豊川公民館



「稲作活動」 桂平小学校×二条公民館

総合的な学習の時間を活用し、地域の農作物を通して何ができるかを考える等、取り組んだ活動の例です。豊川では、地域の休耕田を活用したフルーツガーデンから、どんな活動が生み出されるか、学校や地域で考えながら活動しています。桂平小では、米づくりを通して、地域のいろいろな団体と関わり合いながら、学校と地域とで協働し、活動しています。

たとえば③「子ども・若者が主体となって企画し運営する取組」

自分たちのまちを盛り上げようと、小学生や若者たちが発案・企画し、実現した活動がたくさんあります。地域の子どものためには、いろいろな年代の素敵な大人と出会うきっかけとなり、企画側の子どもたちにとっては、必要とされる達成感を感じる取組となりました。



「イルミネーションづくり」 安田小6年生×遠田保育園×島根県立大生



「勝手に緑日」 小野公民館×若者たち

大切にしたいことは、「子どもが主役の取組」になっているか、「人との出会い」を感じられるようにしているか、「対話」があるか、です。上げ膳据え膳の活動では、子どもたちに生き抜く力は身につけません。そして、出会いや対話を通して、子どもたちは、自分たちも地域の仲間の一員であることを実感し、それが、地域のために何かしていきたいという気持ちにも繋がっていきます。

地域総がかりで取り組むこと 子どもと多世代を繋ぐ



持続可能な地域づくりのためには、ひとづくり（ひとの育ちを促す繋がりづくり）が欠かせません。未来の担い手である子ども達を通して今を担うひとたち（現役世代）が繋がり、さらにその世代と次の世代が繋がっていくような取組が、強く求められています。

たとえば④「日常的なものや、長期休業中の連続した取組」

長期休業中の連続した寺子屋活動や、体験活動を実施しました。平日の日々の活動に組み込むのは勿論、休業期間中の子どもたちの活動の充実には、地域に触れる絶好のチャンスです。それぞれにスキルをもった多様な大人たちが関わることで、子どもたちと地域の方の繋がりはもちろん、関わる大人同士の繋がりも強くなります。



「夏休み企画！宇宙の紙とロケットづくり」 Kitano-ma (北仙道)



「ひきチャレ!!!」 匹見3公民館 & 匹見小学校



「通学合宿」 郡茂・三川公民館

たとえば⑤「広域での取組」



「匹見つわ〜☆第1弾」 津和野→匹見



「ミステリー〜めいたび」cブロック津和野



「お魚博士への挑戦」 吉田×安田×二条

他地域同士が繋がりを協働で行う事業。企画の中心を担う公民館の職員同士が仲良くなったりと、一緒に実施することで負担を分担できたりするなど、大人の繋がりがぐ〜んと広がります。

たとえば⑥「大人の学び〜子どもたちの育成と地域コミュニティの活性化〜」

子どもの活動に関わる大人同士での学びの場づくり。子どもたちへの関わり方にとって大切なことや、なぜ子どもの活動が必要かなど、それぞれの地域の必要感に応じて「対話の場づくり」を行なっています。子ども達の活動について気兼ねなく話したり、これからのことを一緒に考えたりすることが重要で、活動後の振り返りなどは、その大きなチャンスです。



「withの会」 西益田地区



「willの会」 益田地区

「これからの子どものために」という思いはもちろん大切で、それぞれがお互いにちょっとずつ面倒ごとを担うことがなければ、持続可能な地域の実現は不可能です。そしてそれと同様に大切にしたいのは、「関わる大人が楽しんでるか」ということです。子どもは未来からの留学生です。大人の生き生きとした姿を見て、子どもたちは学び、その姿を未来へと繋げていきます。

つろうて子育て協議会

1	益田地区つろうて子育て協議会
2	吉田地区つろうて子育てネットワーク会議
3	高津地区つろうて子育て協議会
4	東陽中学校区ネットワーク会
5	豊川地区つろうて子育て推進協議会
6	西益田地区つろうて子育て協議会
7	二条里づくりの会くらし部会つろうて班
8	小野地区つろうて子育て協議会
9	中西地区つろうて子育て協議会
10	真砂地区つろうて子育て協議会
11	東仙道つろうて子育て協議会
12	都茂・二川つろうて子育ての会
13	匹見地区つろうて子育て協議会